

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	北海道	地区名	西長沼
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 4 6 9 , 2 3 6 千円	
年 効 用		1 9 8 , 9 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		5 7 , 4 2 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 2 0	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 7 6 8 , 9 9 8 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 2	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	24,323	水田の用水不足解消による収量増や 転作作物の面積拡大による収益増 対象作物：水稲、小麦、大豆、ね ぎ、たまねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	6,687	用水不足解消による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	75,090	用排水施設の改修に伴う施設の維持 管理費の節減 対象施設：用水路等
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	90,308	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用水路等
地域の生活環境 の保全・向上	安全性向上効果	504	用水路の暗渠化や転落防止柵設置に よる安全性の向上 対象施設：用水路
	公共施設保全効果	2,062	国道、道道等の付け替えによる便益 の向上 対象施設：国道、道道、市道、林道
計		198,974	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	北海道	地区名	西徳富
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3 , 6 0 2 , 0 2 0 千円	
年 効 用		1 9 2 , 5 5 0 千円	
廃 用 損 失 額		4 2 , 5 8 2 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 0 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3 , 7 9 3 , 0 7 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2 0 , 7 8 9	水田の用水不足解消による収量増や転作作物の面積拡大による収益増 対象作物：水稻、小麦、大豆等
営農経費の節減	5 , 9 9 9	用水不足解消による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稻
	7 2 , 2 1 2	用排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路等
施設更新による従前の農業生産の維持	7 9 , 8 5 9	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路等
地域の生活環境の保全・向上	8 5	用水路の暗渠化や転落防止柵設置による安全性の向上 対象施設：用水路
	2 , 8 0 2	町道付け替えによる便益の向上 対象施設：町道
	1 0 , 0 2 0	ダム新設に伴う河川への還元水の増加 対象施設：徳富ダム
	3 1 3	ダムや用水路新設に伴う地域用水としての機能増加 対象施設：徳富ダム、用水路
	4 7 1	ダム周辺の緑化等により水辺環境が保全、創造 対象施設：徳富ダム、頭首工
計	1 9 2 , 5 5 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	秋田県	地区名	真中大堰
-----	----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		189,000千円	
年 効 用		11,884千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0593	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	200,405千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.06	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,636	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	9,248	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		11,884	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	群馬県	地区名	赤城西部
-----	----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		229,000千円	
年 効 用		12,845千円	
廃 用 損 失 額		1,545千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0525	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	243,122千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.06	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,351	用水施設等の改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	10,494	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設：用水路
計		12,845	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	埼玉県	地区名	大英寺落
-----	----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,127,000千円	
年 効 用		66,642千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0582	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,145,052千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.01	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	12,780	水田の排水改良等による水害防止、 転作作物の面積拡大 対象作物：水稲、小麦、はくさい、 なす
営農経費の節減	営農経費節減効果	29,397	排水改良に伴い作業効率（労働時間の短縮）や機械経費の節減 対象作物：水稲
	維持管理費節減効果	1,903	排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路、付帯工
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	18,195	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路、付帯工
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	4,367	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した魚巢ブロックとすることによる水辺環境の保全 対象施設：排水路、付帯工
計		66,642	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	千葉県	地区名	安房中央
-----	----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		9 2 1 , 6 0 0 千円	
年 効 用		5 1 , 9 6 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 4 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	9 5 8 , 7 4 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	4 , 5 9 6	取水・放流施設の更新による維持管理費の節減、草刈り等清掃人件費の節減
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	4 7 , 3 6 8	取水・放流施設等の現況機能が更新される効果
計		5 1 , 9 6 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	長野県	地区名	夜間瀬
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 2 1 , 3 0 0 千円	
年 効 用		1 3 0 , 3 2 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		1 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 1 2 8 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 0 1 7 , 3 6 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 6 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 4 , 5 9 0	畑かん施設の冬季利用可能による施設作物の面積拡大 対象作物：ハウスぶどう(巨峰)
営農経費の節減	営農経費節減効果	3 0 , 1 4 4	畑かん施設の冬季利用可能による散水作業時間の短縮 対象作物：ハウスぶどう(巨峰)
	維持管理費節減効果	5 2 7	管理制御施設の更新・機能改良による管理費・修理費の節減 対象施設：用水管理・散水制御施設
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6 5 , 0 6 4	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：管理制御施設、用水路、電動弁、防除用水
計		1 3 0 , 3 2 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	富山県	地区名	横越
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		399,000千円	
年 効 用		45,132千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	793,181千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.98	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4,875	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大 対象作物：大豆、さといも、ねぎ、大麦、大根
営農経費の節減	維持管理費節減効果	694	排水路の改修による維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	11,271	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域排水効果	26,784	排水施設の改良により農地等や一般公共施設への被害軽減 対象施設：排水路
	安全性向上効果	1,246	転落防止柵を設置により安全性が向上 対象施設：排水路(防護柵)
	水辺環境整備効果	262	排水路の一部に魚巢ブロックの設置すること、ワドの造成 対象施設：排水路
計		45,132	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	富山県	地区名	桜ヶ池
-----	----------	-------	-----	-----	-----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		598,000千円	
年 効 用		39,510千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0608	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	649,836千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.08	

２．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	5,999	用水路の改修による維持管理費の節減 対象施設：用水路(トンネル)
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	33,511	老朽化した施設の改良による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路(トンネル)
計		39,510	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	石川県	地区名	中島第2
-----	----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		321,300千円	
年 効 用		17,509千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	328,499千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.02	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,205	用水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	15,205	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	99	防護柵を景観に配慮した木製とすることによる景観の保全 対象施設：用水路
計		17,509	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	福井県	地区名	美浜中央
-----	----------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,228,500千円	
年 効 用		78,557千円	
廃 用 損 失 額		63,164	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0591	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,266,058千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.03	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3 , 3 9 6	水田の排水改良に伴う湛水解消による転作物の面積拡大 対象作物：大麦、だいにん、大豆
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6 , 1 4 8	排水施設の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：排水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	3 2 , 1 3 7	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：排水路
地域の生活環境の保全・向上	地域排水効果	3 5 , 6 5 6	降雨に伴う出水により農業用排水路から溢水して農地、農作物及び一般公共施設等に及ぼす浸水被害の防止 対象施設：農地、農業用排水路、農道、農作物、家屋(床下、床上浸水)
	公共施設保全効果	6 6 5	施設の更新に係わる公共施設の補償で、補償物件対象が持つ従来の機能が維持される効果 対象施設：上水管、下水管、農業用パイプライン
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	5 5 5	排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した魚巢、魚道型急流工の設置による水辺環境の保全 対象施設：排水路
計		7 8 , 5 5 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	岐阜県	地区名	中濃
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2,447,188千円	
年 効 用		138,813千円	
廃 用 損 失 額		4,000千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0550	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,519,873千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.02	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7,418	水管理の合理化による単収の増加 対象作物：水稲
営農経費の節減	維持管理費節減効果	39,487	水路改修や水管理システム構築に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：用水路、用排水路 取水口、水管理システム
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	88,830	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、用排水路 取水口
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	1,460	水路沿いのフェンスを更新することによる、安全性向上効果
	水辺環境整備効果	1,618	用水路・用排水路の一部を魚類、ホタル、カワニナの生息環境に配慮した構造にすることによる水辺環境の保全 対象施設：用水路・用排水路
計		138,813	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	福岡県	地区名	袋野
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 6 2 , 5 0 0 千円	
年 効 用		1 5 , 1 5 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 8 4 , 2 9 6 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 8	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3 , 5 2 4	用排水路の改修にともなう維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	1 1 , 5 1 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1 1 3	用排水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した魚巢ブロック水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：用水路
計		1 5 , 1 5 3	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	福岡県	地区名	大和新水路
-----	----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4 4 8 , 0 0 0 千円	
年 効 用		2 5 , 5 2 8 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4 8 9 , 9 8 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 9	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	4 , 5 7 4	用水路等の改修にともなう維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更 新 効 果	2 0 , 7 8 5	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1 6 9	用水路の一部を魚類等の生息環境に配慮した魚巢ブロック水路とすることによる水辺環境の保全 対象施設：用水路
計		2 5 , 5 2 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	長崎県	地区名	繁敷
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 8 2 , 7 0 0 千円	
年 効 用		1 1 , 1 3 0 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 8 6	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 8 9 , 9 3 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1 , 2 6 4	導水路の改修に伴う施設の補修費等 の維持管理費の節減 対象施設：導水路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	9 , 8 6 6	老朽化した導水路の更新による従前 の農業生産の維持 対象施設：導水路
計		1 1 , 1 3 0	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	熊本県	地区名	教良木
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		202,335千円	
年 効 用		17,363千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		20年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0750	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	231,507千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.14	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	2,964	用水施設等の改修に伴う施設の補修費等の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	14,399	既設用水路の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		17,363	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	大分県	地区名	陽目
-----	----------	-------	-----	-----	----

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		184,800千円	
年 効 用		9,757千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		48年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0490	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	199,122千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

２．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1,567	用水路の改修に伴う補修費等の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	8,190	用水路の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路
計		9,757	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	大分県	地区名	三芳
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		105,000千円	
年 効 用		8,263千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		20年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0746	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	110,764千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.05	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理費節減効果	1,080	揚水機施設の更新に伴う補修費等の節減 対象施設：揚水機場
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	7,183	老朽化した揚水機の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：揚水機場
計		8,263	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業（農業用水再編対策）	都道府県名	大分県	地区名	荒瀬２期
-----	--------------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		434,500千円	
年 効 用		25,751千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		34年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	459,019千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.05	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	2,107	用水路からの漏水に起因する湿潤状態が解消されることに伴う転作や裏作の作付面積増加 対象作物：水稻・大豆・白ねぎ・すいか・キュウリ・小麦・キャベツ・大根・白菜・ブロッコリー
営農経費の節減	2,809	用水施設の改修に伴う補修費等の維持管理費の節減 対象施設：用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	13,641	老朽化した施設の更新による従前の農業生産維持 対象施設：用水路
地域の生活環境の保全・向上	7,194	用水路の一部を周辺景観に配慮した雑石練積等による水路整備を行うことによる水辺環境の保全 対象施設：用水路
計	25,751	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	永吉
-----	----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		655,000千円	
年 効 用		74,060千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		12年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.1086	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	681,952千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.04	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	維持管理節減効果	13,177	水管理施設等の改修に伴う補修費等の維持管理費の節減 対象施設：ダム
施設更新による従前の農業生産維持	更新効果	60,883	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：ダム
計		74,060	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	鹿児島県	地区名	鈴岳
-----	----------	-------	------	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		3,550,767千円	
年 効 用		202,535千円	
廃 用 損 失 額		72,643千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		37年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0543	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,657,283千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.02	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	104,270	用水施設整備に伴う作物単収の増加 対象作物：水稻，甘藷，山芋，ガジュツ，馬鈴薯，ソマメ，実エンドウ，びわ，ホウカン，タカハ
営農経費の節減	営農経費節減効果	60,088	農作業の効率化による営農経費の節減 対象作物：甘藷，山芋，馬鈴薯，ソマメ，実エンドウ，びわ，ホウカン，タカハ
	維持管理費節減効果	4,771	用水施設の新設に伴う維持管理費の節減 対象施設：取水施設，用水路
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	36,994	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：取水施設，用水路，農道
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	5,954	公共施設更新による従前機能の維持 対象施設：県道，町道
計		202,535	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	桃原
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,093,326千円	
年 効 用		61,475千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,179,942千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.07	

2．年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	58,734	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	7,140	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	4,399	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加
計		61,475	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	名蔵第 2
-----	----------	-------	-----	-----	-------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 2 4 7 , 3 1 9 千円	
年 効 用		7 5 , 4 5 5 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 4 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 6	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 5 2 1 , 2 7 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 2 1	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7 7 , 1 3 1	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 , 8 9 8	畑地かんがい施設の整備による防除用水等の運搬に係る労働時間の短縮
	維持管理費節減効果	4 , 5 7 4	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加
計		7 5 , 4 5 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	屋我地 2 期
-----	----------	-------	-----	-----	---------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 6 , 7 5 5 , 5 2 3 千円	
年 効 用		1 , 6 5 8 , 4 5 5 千円	
廃 用 損 失 額		2 6 , 8 5 2 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 2 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 6 3 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 6 , 0 9 0 , 5 5 0 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 5 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作 物 生 産 効 果	8 6 1 , 3 7 5	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	8 4 , 0 1 4	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	3 9 , 5 7 1	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：ダム、ファーム Pond 等
地域の生活環境の保全・向上	安全性向上効果	5 9 0	ファーム Pond 等にフェンスを整備することによって安全性を向上
	耕土流出防止効果	7 5 2 , 0 4 7	付体系の変更等営農対策による耕土の流出防止
計		1 , 6 5 8 , 4 5 5	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	羽地
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 , 0 6 9 , 1 4 1 千円	
年 効 用		4 3 9 , 8 0 4 千円	
廃 用 損 失 額		9 , 6 7 9 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		5 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 6 0 5	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 , 2 5 9 , 8 0 9 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 9	

2．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	6 1 , 9 4 2	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	1 2 0 , 9 8 6	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減
	2 0 , 2 3 3	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加 対象施設：ダム、ファームポンド等
施設更新による従前の農業生産の維持	1 , 8 6 1	畑地かんがい施設の整備による旧施設の機能継続
地域の生活環境の保全・向上	4 0 1	ダムの運転によって河川水量を付随的に制御し、従前の被害を軽減
	2 1 3	ファームポンド等にフェンスを整備することによって安全性を向上
地域の生活環境の保全・向上	2 , 6 2 7	ダムの付替えの道路の整備による利便性の確保等
地域の生活環境の保全・向上	5 9 3	ダム等の周辺整備における地域の親水性、景観及び周辺環境への配慮
	2 7 1 , 4 1 4	作付体系の変更等営農対策による耕土の流出防止
計	4 3 9 , 8 0 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	米須
-----	----------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 , 1 9 0 , 5 1 6 千円	
年 効 用		1 2 3 , 0 7 4 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0 . 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 4 2 7 , 4 9 5 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	7 7 , 3 8 4	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	2 8 , 4 0 0	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	5 , 2 8 7	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2 2 , 5 7 7	畑地かんがい施設の整備による旧施設の機能継続
計		1 2 3 , 0 7 4	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	浜崎
-----	----------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		315,000千円	
年 効 用		23,885千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		26年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0642	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	372,040千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.18	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	16,420	排水路改良による高収益性作物の面積拡大
営農経費の節減	維持管理費節減効果	163	排水路底をコンクリート舗装することによる、草刈費用の経費節減
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5,492	排水路の改良による従前の農業生産の維持
更新施設による災害防止	災害防止効果	557	排水路の氾濫による農地等からの土砂流出防止
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	1,253	擬木の防護柵、法面の張芝による水辺環境の保全
計		23,885	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	東七笠
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 1 2 7 , 5 0 3 千円	
年 効 用		6 1 , 7 6 9 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 8 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 2 3	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 1 8 1 , 0 5 2 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 4	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	6 0 , 8 2 5	畑地かんがい施設の整備による作付 面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	5 , 4 8 4	畑地かんがい施設の整備による労働 時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	4 , 5 4 0	畑地かんがい施設の整備による維持 管理費の増加
計		6 1 , 7 6 9	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	かんがい排水事業	都道府県名	沖縄県	地区名	赤地原
-----	----------	-------	-----	-----	-----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1 , 4 9 1 , 0 0 0 千円	
年 効 用		7 8 , 2 3 3 千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 6 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 4 9 8	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1 , 5 7 0 , 9 4 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 0 5	

2．年効用の総括

項 目		年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	8 1 , 7 2 8	畑地かんがい施設の整備による作付面積の拡大や単収の増加
営農経費の節減	営農経費節減効果	1 , 2 1 1	畑地かんがい施設の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減
	維持管理費節減効果	4 , 7 0 6	畑地かんがい施設の整備による維持管理費の増加
計		7 8 , 2 3 3	